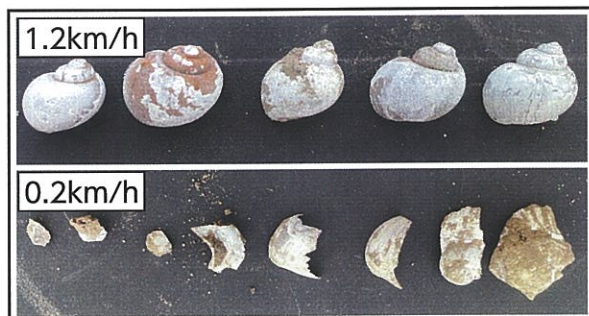


スクミリンゴガイの被害を防ぐために

地域の実情に応じた防除技術を組み合わせて実践しましょう!

冬期耕うん

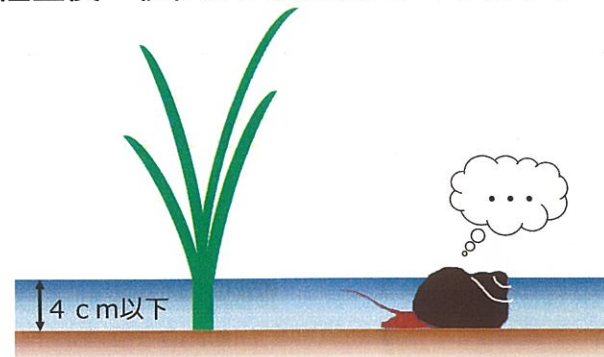
- ・厳冬期前（12月頃）にロータリー耕うんを行うことで、越冬のため土中（深さ5～6cmまで）に潜っている貝を破碎するとともに、寒風にさらして殺貝することができます。
- ・ロータリーの回転を速くし、走行速度をできる限り遅くすることで、貝の破碎効果が高まります。



冬期耕うんの速度による貝の破碎状況の違い

浅水管理

- ・移植後の水深を4cm以下に保つことで、イネへの食害を抑制することができます。
- ・水深を均一に保つために、レーザーレベラー等を活用して、代かきまでに、ほ場の凹凸をなくしておきます。
- ・浅水管理期間の目安は、移植直後～移植3週間後までとします。



ネット設置

- ・水路からの貝の侵入を防ぐため、取水口や排水口に、9mm程度の目合いのネットを設置します（排水口からも貝は侵入します）。
- ・網の中に溜まった貝やゴミは、定期的に取り除きます。
- ・網の目が粗いと小さな貝がすり抜け、細かいとゴミが溜まりやすくなります。



ネットを設置した排水パイプ

農薬散布

- ・移植直後と移植4週間後（分けつ初期）に、誘殺効果のある農薬を散布することで、イネへの食害を防止できます。

【農薬例（令和3年12月1日現在の登録内容による）】

- ・スクミノン
（メタアルデヒド粒剤）
- ・ジャンボたにしくん
（メタアルデヒド粒剤）
- ・スクミンベイト3
（燐酸第二鉄粒剤）



移植直後のイネ苗を食害するスクミリンゴガイ

その他の農薬については、滋賀県農作物病害虫雑草防除基準を参照してください。また、農薬を使用する際は、ラベルの記載事項を遵守してください。

貝の捕殺・卵塊の除去

- ・イネの生育期間を通じて、ほ場内や水路の貝を網などで捕獲し、踏み潰すなどして殺貝します。貝を誘引する餌を仕掛けておくと、効率よく捕獲できます。
- ・水路の側面などに産卵されたピンク色の卵塊は、水中にそぎ落として殺卵します。

※スクミリンゴガイは人体に有害な寄生虫を持っている場合があるため、素手では扱わないでください。



本田内のスクミリンゴガイ

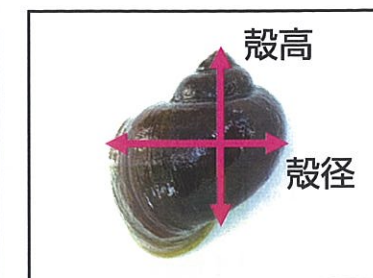


スクミリンゴガイの卵塊

スクミリンゴガイと在来タニシの見分け方

スクミリンゴガイ

- ・らせん上部が短く、殻高と殻径がほぼ同じ



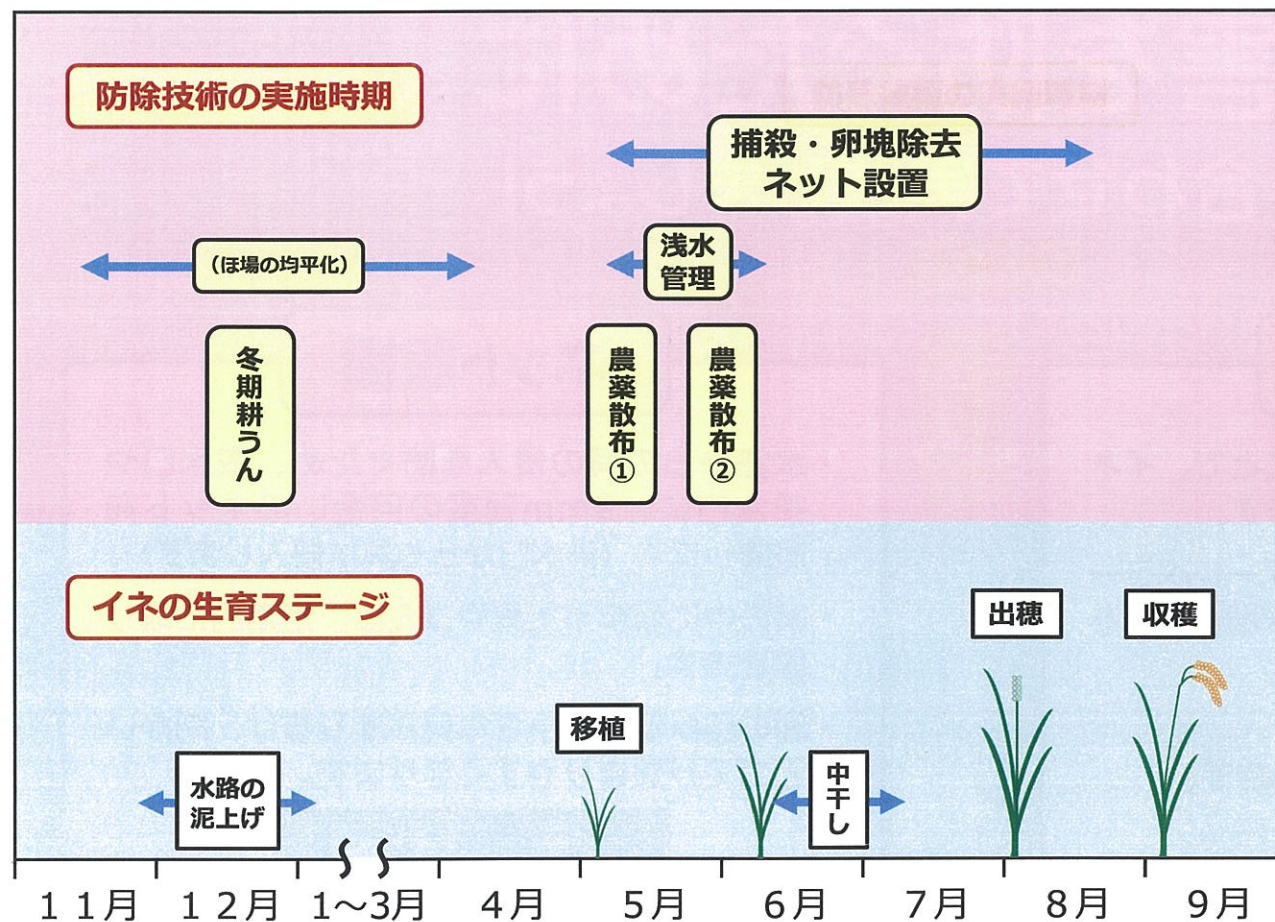
- ・殻は薄く割れやすい
- ・触角が長く、赤みを帯びている

在来タニシ

- ・らせん上部が長い



- ・殻は固い
- ・触角が短く、黒い



スクミリンゴガイの生態や防除法について、より詳しい情報は、
農林水産省発行「スクミリンゴガイ防除対策マニュアル
(移植水稻)」をご参照ください。



<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryou2/sukumi/sukumi.html>

スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ) 防除対策マニュアル

令和4年(2022年)3月発行

【発行元】

滋賀県病害虫防除所

TEL: 0748-46-4926

E-mail: gc70@pref.shiga.lg.jp

滋賀県農政水産部農業経営課

TEL: 077-528-3842

E-mail: gc00@pref.shiga.lg.jp

表紙写真 上 段: スクミリンゴガイ成貝

下段左: スクミリンゴガイの食害を受けたほ場

下段右: 排水ますに産卵されたスクミリンゴガイの卵塊

本マニュアルは令和3年度病害虫の効率的防除体制の再編委託事業
(スクミリンゴガイの総合的防除体系の確立) により作成しました

スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ) 防除対策マニュアル



令和4年(2022年)3月

滋 賀 県